

【一】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

NHKが学生を対象にして、「情けは人の為ならず」という言葉の意味を⑦尋ねたところ、人に情けをかけるためぐりぐりぐって自分のためになる、という正しい意味を答えた者が三十七パーセント。

「①可愛い子には旅をさせよ」ということわざを、最近の若い人は、可愛い子には旅をさせて、⑧見聞を広めさせ、いい体験を⑨ツませてやろうよ、という意味だと思っっているそう。

これは、今と昔とは旅のイメージが大きく変わっているから仕方がないとも言えるのだが。昔は、旅をするというのは大変なことで、(注1)水さかずきを交わしたぐらいのものであり、親元を離れて大いに苦労をしたのだ。だからこのことわざは、可愛い子だからこそ世間に出て苦労させなくちゃ、というニュアンスだった。でも、時代が変わればことわざの受け止め方だって変化していってしまう。

高校生の作文コンクールの審査員をしていた時のこと、ある年の課題で、「百聞と一見」というのがあった。「百聞は一見に如かず」ということわざをふまえて、そのどっちがいいのか、ゲーム的に(注2)ダイベートしてごらん、という課題だ。

A そのテーマに対して、高校生の多くが、視覚情報と聴覚情報はどっちが確かか、という⑩ロンコウをするので⑪オドロいてしまった。テレビより、案外ラジオのほうが真実が伝わったりする、なんていう論だ。

違うんだけど、と私は思った。聞く、というのは、人に聞くことであり、伝聞なのだ。そして見るというのは、自分がその目で見ること。つまり⑫あのことわざは、伝聞よりも実体験のほうがよく分かる、ということを行っているのである。テレビで見るのは、むしろ百聞の方であり、そこへ行って自分の目で見るのが、一見である。

(語注)

1 水さかずきー再会できるかどうか分からない決別の時などに酒の代わりに水をついで飲み交わすこと。

2 ダイベートーあるテーマにおいて、賛成派・反対派に別れて討論すること。

(清水義範『行儀よくしろ。』より)

問一 Ⅱ線部㉞㉟のカタカナを漢字に、漢字はひらがなに直しなさい。

㉞		㉟		㊱		㊲	
---	--	---	--	---	--	---	--

問二 A にあてはまる最も適当な言葉をア～エの中から選んで、記号で答えなさい。

- ア なぜなら
- イ ところが
- ウ そうして
- エ ところで

□

問三 Ⅰ線部①「可愛い子には旅をさせよ」とあるが、本来の解釈はどのようなものだとされているのか。本文から一文を抜き出し、初めと終わりの五字を抜き出さない。(句読点を含む)

初め						
終わり						

問四 Ⅰ線部②「あのことわざは、伝聞よりも実体験のほうがよく分かる」とあるが、作者はなぜ「百聞」よりも「一見」の方が「よくわかる」と言っているのか。本文の語句を使って簡潔に答えなさい。

□

問五 本文のことわざの解釈として、適切なものをア～エの中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 「情けは人の為ならず」とは「情けは人の為ではなく、自分自身のためにかけるものだ」という意味である。
- イ 「百聞は一見に如かず」とは、「視覚情報と聴覚情報との比較ロンコウをするため」という意味である。
- ウ 「百聞は一見に如かず」とは、「百回聞くことは、自分の目で一回見ることと同じ効果がある」という意味である。
- エ 「可愛い子には旅をさせよ」とは、「親として若いうちに旅の素晴らしを経験させたい」という意味である。

□

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(注1) 唐土もろこしに北叟ほくそうと⑦いふ翁おきなありけり。かしこく強き馬をなん持ちたり。A。これを、人にも貸し、我も使ひつつ、(注2) 世を渡る便りにしけるほどに、この馬、いかがしたりけん、(注3) いづちともなく失せにけり。聞きわたる人、いかばかり嘆くらんと⑧思ひて、(注4) つゆも嘆かざりけり。

あやしと思ふほどに、この馬、同じさまなる馬を、(注5) あまた具して来にけり。①いとありがたきことなれば、親しき疎うとき、喜びを言ふ。かれど、また「喜ばず」と言ひて、これも驚く気色けしきなし。

かくて、この馬あまたを⑨飼ひて、さまざまに使ふあひだに、翁が子、今出いで来たる馬に乗りて、落ちて、右の腕かひなを突き折りて、聞く人、また驚きとふにも、なほ、「悔いず」と言ひて、気色けしき変はらず。

さるほどに、にはかに国に戦起りて、兵つはものを集められるに、国の内にさもある者、残りなく戦に出でて、皆死にけり。この翁が子、この中にもれにければ、片手は折れたれども、②(注6) 命は全またかりけり。

〔語注〕

- 1 唐土―中国。
- 2 世を渡る便り―生計を立てる手段。
- 3 いづちともなく―どこへともなく。
- 4 つゆも―全く。少しも。
- 5 あまた具して―たくさん連れて。
- 6 命は全またかりけり―命は無事だった。

() 『古今著聞集』より ()

問一 〓線部⑦〓⑨を現代仮名づかいに直し、すべてひらがなで答えなさい。

⑦
①
⑨

問二 A 〓にはまる言葉をア～エの中から選んで記号で答えなさい。

- ア ける
- イ けら
- ウ けり
- エ けれ

--	--

問三 〓線部①「いとありがたきことなれば」を現代語訳しなさい。

--

問四 〓線部②「命は全かりけり」とあるが、誰の命が「全かりけり」なのか適当なものをア～エの中から選んで記号で答えなさい。

- ア 翁
- イ 兵
- ウ この馬
- エ 翁が子

--

【三】次の〓線部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。
① ならだかに広がる丘陵地帯。 ② 手紙の書きだしは拝啓で始まる。 ③ 漢詩を朗詠する。 ④ 遺骨を丁寧ていねいに埋葬する。

①
②
③
④

【四】次の〓線部のカタカナを漢字で答えなさい。
① マホウ使いの物語が大好きだ。 ② 無駄な口ウヒを慎む。 ③ 子供のクツタクのない笑顔。 ④ 家屋がホウカイする。

①
②
③
④

【五】次の①～④の語が類義語になるように〓からひらがなを選び、漢字に直して答えなさい。ただし〓に入る漢字は一字のみとする。
① 専念 〓 〓 頭 ② 処理 〓 〓 置 ③ 未熟 〓 幼 〓 ④ 難儀 〓 辛 〓

①
②
③
④

く・ち・そ・ぼつ

【六】次の①～④の四字熟語から間違っている漢字を答えなさい。また、その漢字を正しく直しなさい。

- ① 勇猛華敢
- ② 新鎮代謝
- ③ 無理軟題
- ④ 終始一幹

①	
正	誤
②	
正	誤
③	
正	誤
④	
正	誤

受験番号